

合格！高校入試対策

保護者通信

飛耳
長目
ひじちょうもく

October 2023

偶数月発行

創刊号

松陰塾

公式サイト



発行所
株式会社ショウイン
〒810-0041
福岡市中央区大名2丁目6-150
福岡大名ガーデンシティ9F

「龍桜コース」がスタート!

中3生向けの高校入試対策「龍桜コース」が、いよいよ2023年11月1日にスタートします。「龍桜コース」とは、志望校に合格するために高校入試直前まで「龍桜system」を使用し、週5日間、基礎からスタートして全国高校入試過去問題にチャレンジする合格特訓コースです。

「龍桜system」では10段階で合格できる高校のレベルを視覚化しているの
で、高校への合格到達度が日々確認できるようになっています。
「龍桜コース」の詳細やお申込みは、塾長へお問い合わせください。



中3ラストスパート! 過去問徹底で合格に近づく「龍桜コース」

本年度の龍桜コース受講期間

2023年

11/1



2024年

3/31

●本コースは期間限定です
・志望校合格へ向けた総仕上げに特化したコースです。
※お早めのお申し込みをおすすめします。

●お申し込み・お問い合わせ
・月謝金額、授業時間等の詳細は塾長まで。

新しくなった大学入試制度!

10月になり高校3年生の成績(評価・評定)が合
にとつて大学受験本番が
身近に感じられる季節に
なってきました。

2021年入学者対象
の試験から大学受験の
試験方式は一般選抜、総合
型選抜(旧AO入試)、学校
推薦型選抜(旧推薦入
試)の3種類に変わりました。
一般選抜は従来通り
大学入試センターや各
大学がおこなう試験を受
験し、その点数で合否を
判断するものです。総合
型選抜は高等学校におけ
る成績や小論文、面接な
どで人物を評価し、入学
の可否を判断する選抜制
度です。学校推薦型選抜
は主に調査書(内申書)
及び面接の内容によって
評価され、合否が決まり
ます。つまり、高等学校で

2021年入学者対象の成績(評価・評定)が合
否に大きく影響します。近
年は少子化により総合型
選抜や学校推薦型選抜な
どのいわゆる推薦型選抜
による入学者の割合が増
加しており、私立大学のな
かには半分以上の入学者
がこの制度を利用してい
る大学もあります。学校推
薦型選抜を考えている生
徒は、定期テストを頑張っ
て一定以上の評定を獲得
する必要があります。松陰
塾では「河合塾One」を
活用し、定期考査対策を
おこなっています。ぜひ受
講して成績アップにつなげ
てください。

河合塾Oneの
詳細はこちら!



日本最大のピアノコンクール

受賞おめでとう！



天白原校の塾生
平瀬 勝悟くん



E級(年代ごとの階級)での演奏の様子

check!

ピティナ・ピアノ コンペティションとは？

ピティナ・ピアノコンペティションは、未就学児から大人までの幅広い部門を展開する、参加者のべ約45,000組(予選～全国計)を誇る、国内最大規模のピアノコンクールです。



当に松陰塾に出会えて良かったなと感じています。

ご本人コメント

この度はピアノコンクールで素晴らしい賞をいただけて、驚きと喜びの気持ちで一杯です。練習では思うようにいかないこともたくさんあり挫けそうになったこともありましたが、たくさんの方々に支えられ本番は気持ち良く演奏することが出来ました。

塾長コメント

志望校合格とピアノコンクール全国大会入賞という確たる目標を持って入塾された勝悟くんは、すぐに松陰塾の真髄である自立学習を確立し、文武両道を体現し、見事に目標を達成されました。その礼儀正しさと実直さも全国の松陰塾生の見本であり、目標となってくれます。素晴らしい塾生との出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。今後の勝悟くんの更なる活躍にエールを送らせていただきます。



保護者コメント

多くのコンクールに参加する息子は、ピアノ漬けの日々ですが、塾で勉強することが、気分転換になっているようです。受験生だった昨年、全国大会に出場することで夏期講習に参加できず、焦る息子に「心配しなくても絶対に勉強は取り戻せるから、気にしないで頑張っておいで」と声をかけてくださった先生方に大変勇気をいただきました。結果、全国大会出場に加え、第一志望の高校に合格できました。ピアノと勉強の両立を支援してくださった、松陰塾の先生方に感謝しております。



保護者様からのご意見・ご感想などお待ちしております！

info1@showin.co.jp

吉田松陰先生に学ぶ

松陰神社 名誉宮司 上田俊成

と支えが、松陰先生の力の源でありました。

吉田松陰先生の実家杉家は家族の絆の強い家でした。杉家は半土半農で、藩士として秋藩に仕えながら、田畑を耕し、山へ薪を取りに行くという生活を送りました。父杉百合乃助は勤労と勤勉(学問)を両立させ、寡言で潔癖な武士であり、尊皇の思いが強い人でしたが、家族の結びつきを大切にしました。梅太郎、大次郎(松陰)の兄弟を野良仕事を手伝わせながら教育に努め、兄弟の初等教育は殆ど野良で習い覚えました。母瀧子は三男四女を養育し、温容、勤勉、親切で感謝の生活を送り、ユーモアを解し、子供の世話から親戚の老婦人の世話まで全く厭わず、慈愛に満ちたお人柄で、貧苦の暮らしの中でも子供達の教養を心掛けられ、夜灯火のもとお子達を膝下に寄せて、名將の伝記や心学の本を読んで聞かせられました。

言うまでもなく、子供の成長の元は家族、家庭にあります。その良き例とも言える松陰先生の実家杉家に学びたいものであります。

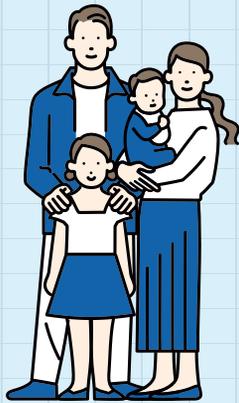


詳しくはこちら



松陰先生の行動・実践は、過激とも言える時もありましたが、両親は我が子を信じ支え続けられました。兄弟姉妹の仲も良く、このような家族の愛

保護者様からの声



書く力が身に付いたようです。

以前は「書く」ことがとても苦手だったようですが、「ショウイン式」でわからないことを繰り返しノートに書いて解いているうちに、書く力が付いてきました。問題のポイントが見えてくるので、頭の整理のためにも大切なことだと再認識しています。今では子どもがびっしり書いたノートを自慢してきます。

中1男子 福岡県／母親

緊張感を持って学習しています。

自立学習教材「AI-Showin システム」は、一問一問に集中しないと先に進めないみたいで、最初はうちの子にできるのかなと思ったのですが、楽しく勉強できる仕組みがあって、良い意味で緊張感のある学習ができています。

小5女子 東京都／母親

子どもが机に向かうようになりました。

学校の宿題をしない子だったのですが、毎週担当の先生から学習目標と課題を出していただき、約束を守る事を親身に指導いただいています。信頼できる先生ということもあるかと思いますが、勉強に向かう姿勢が変わったので、親として本当にうれしく思います。

小6男子 宮城県／母親

塾に通うのが楽しそうです。

わからないまま先に進まず、子どもの学力に合わせて進めてくれるので、確実に学力が上がってきています。先生がやる気を引き出すように声かけしてくれるし、毎日通える「通い放題コース」にしたことで、勉強がわかるようになり、塾に行くのが楽しいと言っています。また、英検対策もしてくれるので、次回の検定試験にチャレンジさせたいです。

中2女子 大阪府／母親



帰国子女でパワフル!生徒からの人気抜群!自身の経験をフルに活かし塾生、保護者様の気持ちに寄り添います。



詳しくはこちら



勉強嫌いな子を勉強好きにさせます。塾に来るのが楽しくなるような空間を演出してお待ちしております!



詳しくはこちら



エフエム萩と Youtube で放送中!



松陰塾® 総塾長 / メンタルヘルスカウンセラー。国際線 CA として 7 年間勤務。その後大手 FC 学習塾を経営。松陰塾では全国の校舎の立ち上げや塾長の指導にあっている。



フリーアナウンサー。エフエム萩のラジオ番組「モーニング 775」(毎週月~金 9:00~10:00)と「アフタヌーン 775」(毎週月~金 14:00~16:50)の元パーソナリティ。



教育熱心な家庭で育った裕塾長と自由奔放に育った絵利塾長のおしどり夫婦のコンビがバランスよく子どもたちの成長を見守ります!



詳しくはこちら



アタック25で優勝の実績を持つ雑学に詳しい塾長が、勉強だけでなく人生の楽しさを教えます。



詳しくはこちら



子どもたちに対する熱い想いは、誰にも負けません。一人ひとりの夢を叶えるために毎日全力で向き合います。



詳しくはこちら

2023年度 吉田松陰先生「志」作文大会

吉田松陰先生を祀る松陰神社において、「志」を学ぶ作文大会(参加費無料)が実施されています。多数の塾生より作品が提出されています。

審査後、応募者には賞状

とご朱印が授与されます。受賞歴は高校入試時の学校調査書内「総合所見」欄への記載内容として申請できます(※記載の有無は担任、校長などの判断によりま

テーマ 親に感謝していること

参加条件(下記3点を満たしていること)

- (1) 中学1年生～中学3年生
- (2) 「文字検」3級以上に合格していること
- (3) 「書く蔵」を受講中であること

応募期間

2023年8月16日(水)～
2023年10月16日(月) 協会到着分まで

※校舎でまとめて発送しますので、校舎指定の期日までに提出ください。

審査

松陰神社
一般社団法人 日本語力検定協会

受賞歴は自己PRの一つとして、高校入試時の学校調査書内「総合所見」欄や履歴書などへの記載内容として申請できます。

(※記載の有無は担任、校長などの判断によります)

2023年度
吉田松陰先生
「志」作文大会
作品募集!
参加費無料!

受賞者全員に賞状と松陰神社 御朱印を贈呈!

受賞歴は自己PRの一つとして、高校入試時の学校調査書内「総合所見」欄や履歴書などへの記載内容として申請できます。

応募期間 2023年8月16日(水)～2023年10月16日(月) 協会到着分まで

主催 一般社団法人 日本語力検定協会
協賛 松陰神社

作文得点で合否が決まることも!

昨今、中学・高校入試では記述式問題が増えていることから、松陰塾では月例作文「書く蔵(作文講座)」に力を入れております。毎月課題にそって、10分～15分を目安に200文字で作文します。その後、添削結果をもとに書きながら、実力を養います。詳しくは塾長までお問い合わせください!

■作文講座主催

一般社団法人 日本語力検定協会

これなら私もやってみよう!

書く蔵

松陰塾保護者通信「飛耳長目」(ひじちようもく)とは

「飛耳長目」とは、吉田松陰

先生が松下村塾で学ぶ若者たちに時代の動きや情報を収集することの大切さを説いた際に用いた中国の古典由来の言葉です。これは「行動を起こすには正確な情報が必要で、遠くの事をよく見聞きする耳や目で敏感に観察しなければならぬ」という意味です。松下村塾は、高杉晋作、伊藤博文ら幕末維新の英傑を続々と育てたことで有名です。私どもの松陰塾はこの松下村塾の教えを引き継ぐ唯一の学習塾として認められています。

さて松陰先生は若い頃、異国の船が日本近海に出没するようになった情勢を受け、「百聞は一見にしかず」として日本各地の海防体制を見聞して回りました。

松陰先生が松下村塾で指導された期間は2年ほどでしたが、細かな知識を教え込むよりも、生き様を示し国の未来を憂う若者たちのハートに火をつけたのです。

締め切り間近! 第3回 秋のウルトラキャンペーン

塾生入室メール(LINE)はこちら!

秋のウルトラキャンペーン
塾生全員対象!!
総額100万円
キャンペーン期間 2023.8.16～2023.10.31まで

応募方法

塾生入室メール(LINE)内の「メニュー」から「応募フォーム」をおして、アンケートにお答えください!



応募条件

- ① ショウインIDをお持ちの塾生が対象です。
- ② お1人様1回までのご応募とさせていただきます。
- ③ キャンペーン期間中にアンケートにお答えください。
- ④ 12月上旬の当選額お振込時に在籍が必須です。

抽選結果発表

- ① 2023年11月15日発表予定
- ② お電話か公式LINEメッセージでご当選者様へご連絡させていただきます。12月上旬にお振込みいたします。
※ご連絡がとれない場合は、当選を無効とさせていただきます。

保護者のための『人間学』

お子様の人間力を高めるための読本として「人間学」を学べる唯一の月刊誌「致知」にご協力いただき、記事を抜粋し、毎回掲載させていただくことになりました。

107年ぶり甲子園優勝!!

慶應義塾高校野球部の飛躍を支えた『人間学』の学び

第105回全国高校野球大会で慶應義塾高等学校は見事107年ぶり、夏の甲子園優勝を飾りました。その裏には2年前に導入した月刊誌『致知』を使った勉強会「学内木鶏会」の存在があったと言います。その導入によって生まれたチーム内の変化について、森林貴彦監督にお話しいただきました。

——木鶏会を導入したことで、チームにどのような変化がありましたか

(森林監督)

例えば、『致知』にご登場される一流の方々の生き方に触れ、お互いの感想文発表を聞く中で、「今度から積極的にやろう」と思いました。「率先して難しい役を引き受けてやってみようと思いました」というように、物事を自分自身のあり方に関連づけて考えられるようになってきたことを、特にこの2年目に強く実感しています。それが目に見えない

——部員同士、チーム全体の雰囲気が変わってきたと

(森林監督)

そうですね。「キャプテンだから」とか、「試合に出ているから」とか、「上級生だから」といった発言は全く出なくなり、皆でフラットに意見を言えるチームになってきました。あと、やはり美点凝視の実践により、野球が上手・下手、上級生・下級生関係なしに、お互いのいいところを探し合うよう

——そうした積み重ねが、今回107年ぶりの甲子園優勝にも繋がったところはありますか

(森林監督)

ええ、そう思います。やはり、試合においては心の部分がとても大きく影響します。常に前向きな考え方でいられるかどうか、ピンチでもチャンスだと捉えられるかどうか、その心、精神の部分の強さは、まさに学内木鶏会から学んできたことですね。実際、神奈川大会の決勝戦は9回表の段階で負けていたんです。でも、ベンチでの表情、声掛けについては「逆」にこっから追いついて勝つから本当に凄いよね」「俺たち

——最後は心の姿勢、人間力が勝負を決めるのですね

(森林監督)

レベルが上がってくればくるほど、技量や体力の差は、本当に紙一重です。逆に言えば、その紙一重を制するかどうかは、技術以外のところ、人間力の部分にあるということです。「最後は人間力が大事だよ」と信じて取り組んできたことが、今回の優勝によって間違っていないかと証明された。これから甲子園でも厳しい戦いがあるでしょうが、これまでの

はまた強くなれるよね」というような非常に前向きな感じでした。ですから、負けてはいても、「よし行くぞー!」「堂々と自分たちのプレーをやり切ろう」「目の前のことでベストをつくそう」という清々しい気持ちで臨めていました。もちろん様々な要素はありましたが、心身の姿勢、チーム全体の雰囲気、運をこちらの方に向けてくれ、勝利を引き寄せてくれたように思います。

学びを堂々と発揮すればいいんだ、そう確信と自信を持って試合に臨んでいきたいと思います。

※このインタビューは、致知出版社が慶應義塾高校・森林監督に2023年7月末と8月の2回に分けて行われたものです。

致知
出版社

『致知』は書店ではお求めにできない人間学を学ぶ唯一の年間購読の月刊誌です。

